

昭和63年（一九八八）

- | | | | | | |
|------|----------------------------------|------|-------------------------------------|------|--------------------------------------|
| 5・21 | 川窪満家調査（峰岸・関調査員） | 6・21 | 第40回編集専門委員会 | 7・14 | みずくらいど編集（北原委員） |
| | 民俗班調査研究会 | 6・22 | 民俗班調査研究会（河上委員、橋本・保坂・森田・木下・浅井・山崎調査員） | 7・23 | 中世班資料整理（久保田委員、大久保・小松・遠藤・長塚・平野・井口調査員） |
| 5・24 | 農業調査（田中調査員） | | | 7・26 | 近世資料編編集（峰岸・関調査員） |
| 5・25 | 近世班資料編打合せ（北原委員、高崎・武藤・峰岸・宮田・関調査員） | 6・24 | 第一小学校資料調査 | 7・28 | 精進バケ遺跡見学（羽村町） |
| | | 6・27 | 森田勉・森田美芳家所蔵資料借用 | 7・29 | 第41回編集専門委員会議 |
| 5・26 | 第一小学校資料調査（高崎調査員） | 6・29 | 寺社調査資料整理（小松調査員） | 7・30 | 民俗班資料編打合せ（河上委員他） |
| 5・27 | 民俗班調査研究会（河上委員他） | | | 8・2 | 民俗班資料編打合せ（保坂・山崎・橋本・浅井・横地・森田調査員） |
| 5・30 | 第一小学校資料調査（高崎調査員） | | | 8・3 | 新井光家資料借用（羽村町） |
| 6・3 | 第一小学校資料調査（高崎・田中調査員） | | | 8・4 | 中根勉家資料借用（羽村町） |
| | | | | 8・8 | 第二小学校資料調査（新井委員、高崎調査員） |
| 6・6 | （新井委員）近代資料選別 | | | 8・9 | 第二小学校資料調査（高崎調査員） |
| 6・8 | 新聞資料整理（近代）民俗班調査研究会 | | | 8・10 | 民俗班資料編打合せ（河上委員他） |
| | | | | 8・16 | 市内資料調査（川鍋委員）第三小学校資料調査（高崎調査員） |
| 6・11 | 井上亨家資料調査（新井委員他） | | | 8・17 | 第三小学校資料調査（高崎・佐藤調査員） |
| 6・13 | 第一小学校資料調査（高崎調査員） | | | | 沢井勝巳家（八王子市高月）資料調査（高崎・武藤・峰岸・関調査員） |
| | 中世班調査資料整理（大久保・小松調査員） | | | | 民俗班資料編打合せ（昔話） |
| | 高崎・井上家資料整理（近代・佐藤調査員） | 7・2 | 中世班打合せ（久保田委員、大久保・平野・遠藤・小松調査員） | | |
| 6・17 | 第一小学校資料調査（高崎調査員） | 7・4 | 森田美芳家資料整理（新井委員） | | |
| 6・18 | 現代班調査打合せ（川鍋委員、高崎・田村調査員） | 7・7 | 第一小学校資料調査（高崎・佐藤調査員） | | |



- 8・23～24 第三小学校資料調査(高崎・佐藤・田中調査員)
- 8・25 近世資料編編集(北原委員、峰岸調査員、於立正大)
- 8・29 現代班調査打合せ(橋本・田村・高崎調査員)
- 8・31 第三小学校資料調査(高崎・佐藤調査員) 民俗班資料編打合せ
- 9・1 近世資料編入稿
- 9・5 近代資料調査(新井委員)
- 9・10 民俗班資料編打合せ(河上委員、佐野・宮田・橋本・木下・森田・浅井・保坂調査員)
- 9・13 第42回編集専門委員会
- 9・24 新編さん委員に浅見裕康助役
- 9・30 民俗班資料編打合せ
- 10・11 マイクロ撮影開始
- 10・17 撮影史料調査(新井委員)
- 10・27 撮影史料調査(新井委員)
- 10・29～30 地方史研究協議会全国大会参加(於大田区民プラザ) 市史刊行物の展示販売
- 11・1 第8回市史編さん委員会

- 石川編さん会長辞職により新会長に野島茂雄氏選出、職務代理に橋本孝藏氏。
- 第43回編集専門委員会
- 11・2 新編さん委員に平井賢治氏
- 11・4 民俗班資料編打合せ(河上委員他)
- 11・6 寺社聴取調査(佐野調査員)
- 11・18 第一中学校資料調査(高崎・佐藤調査員)
- 11・22 民俗班資料編打合せ
- 11・24 資料編編集(北原委員、於立正大)
- 11・30 民俗班資料編打合せ

編集後記



◇『福生市史資料編』も中世・寺社編、考古編に続いて近世1編が刊行され、現在、民俗編が進行中。『みずくらいど』も八号となり、編集委員会でも本編の話題がちよくちよく出るようになった。編さん室も、設置当時の静かな雰囲気になつかしい感があるほど、最近では各部門の調査員が出入り

し、いよいよ佳境に入ってきた。充実した市史にするためにも、市民の皆さんの積極的な参加をお願いしたい。「市民が綴る福生の歴史」のコーナーへ、ご自分の体験したこと、あるいは所蔵の古い資料の紹介など、遠慮せずにぜひ投稿してほしい。今回掲載の山崎氏の『若氣の日記』も、思いきって出していたいだいた。戦後の福生の青年たちの潑刺とした姿が、行間からうかがわれ、貴重な記録となった。この資料のように、プライベートな記録が、じつは、福生の歴史を叙述する時に生きてくる。押入れや引出しの奥に眠っている資料を、もう一度見直してほしい。とくに近現代史を豊かなものにするためにも。

◇今度の号から新しいシリーズをはじめた。「ふっさ画譜」と「文学の中の福生」である。福生の移りかわりを、カンバスに描かれた絵を通してみたい。小説やエッセーに福生はどんな風に描かれているか。こんどの二本は『みずくらいど』に新風を吹きこんでくれた。

◇編集担当 河上一雄・新井勝紘

(新井記)

みずくらいど 8号 (福生市史研究)

平成元年 (1989) 3月 30日 発行

編 集 福生市史編さん委員会

発 行 ふつ福 き生 市

〒197 東京都福生市本町5番地

電 話 0425 (51) 1511

印 刷 株式会社 精 興 社

〒198 東京都青梅市根ヶ布1-385番地
